日本国首相　小泉純一郎殿

２００５年１１月２日

日本科学者会議常任幹事会

抗　　議

日本科学者会議は、科学者の社会的責任を果たすべく、科学の総合的発展と科学的認識の普及を目指し、科学技術の悪用と真実の隠蔽や誤魔化しに反対し、憲法が定める平和国家、民主主義国家、福祉国家の建設に貢献しようとする団体である。

ところで貴殿は、去る 10 月 17 日わざわざA級戦犯合祀の日に、内外から強い批判を浴びている靖国神社参拝を強行した。我々はこのような暴挙に強く抗議する。

もともと、靖国神社は国が起こす戦争を遂行するために戦死者を顕彰する神社であり、今もアジア太平洋戦争を「正義の戦争」として肯定、美化し、A級戦犯を合祀している。これに参拝することはその趣旨を認めることに他ならない。したがって、政治家とりわけ一国の首相がこのような神社に参拝して「先の戦争を反省し、不戦を誓い、戦死者を追悼する」などと強弁することは許されない。

首相の靖国神社参拝は、如何なる形式であれ、憲法における政教分離、侵略戦争の反省と不戦の誓い、そして公務員の憲法遵守義務に違反する。また、それは内外の戦争犠牲者を辱め、平和を望む世界の人々とりわけ一貫して靖国参拝の中止を求めてきたアジア諸国民を愚弄することである。さらに、それは甚だしい時代錯誤であり、日本を国粋主義と軍国主義、果ては戦争や国際的孤立に導くものである。

我々は、貴殿が自らの靖国参拝の暴挙を謝罪し、憲法が定める平和国家の実現に向けて首相としての責任を果たすよう、強く要求するものである。

以上